

◆ 平成29年7月九州北部豪雨に伴う第31回災害ボランティア活動を平成30年9月15日（土）朝倉市杷木林田地区において福岡信用金庫と合同にて実施しました。

筑後信用金庫有志は、昨年九州北部豪雨で被災した杷木林田地区において、地元支援団体を通じて農地の土砂だし支援を実施しました。

今回、当金庫有志6名のほか県内の福岡信用金庫博多駅南支店有志8名の応援が加わり合計14名で活動しました。朝倉市杷木は、昨年災害ボランティアセンターを通じて家屋の土砂だしなどの活動をした場所ですが、災害ボランティアセンター閉所後も地元支援団体を通じて現在も農地・水路等の復興作業が行われています。今回作業した林田地区は、赤谷川が氾濫して被災した地域であり、大学生チーム（約15名）が前日活動した場所を引継いで活動しました。

当日は、朝から雨となりましたが、8時50分には集合場所である地元支援団体事務局の周辺ではすでに大型重機が稼働し、ダンプによる運搬が始まっていました。9時半頃に現地へ移動し、重機が入らない2ヶ所に8名と6名に分かれ、スコップ・手箕（テミ）・一輪車を使って活動しました。作業は、田んぼの中の土砂を除去して、一輪車で集積場所へ運ぶものですが、雨合羽を着ているため湿度が高くて蒸し暑く、1時間ほどで雨が止んだ後は強い日差しとの戦いで、非常に疲れしました。また、スコップで土砂を出す時も、土砂の中に木片や根などが混ざっていることからスムーズに進まず、田んぼ一面の土砂を除去するには相当日数がかかるものと思うほどでした。作業は、ケガ人もなく、午後3時時間切れとなり終了しました。

（福岡信用金庫8名と筑後信用金庫6名の集合写真）



今回の災害ボランティアで活動されました福岡信用金庫の有志の皆さま及び杷木復興支援ベースのスタッフの皆さま、お疲れ様でした。



(作業現場：田圃一面土砂で埋まっています)



(作業現場：田圃一面土砂で埋まっています)



(福岡信用金庫有志の皆さん)



(筑後信用金庫有志の皆さん)



(作業風景)



(作業風景)